

目指せ 造園技能士

令和4年度

造園技能検定

造園技能検定の実技試験が令和4年9月3日(土)と4日(日)の2日間にわたり、高松鬼無盆栽センターで実施されました。

造園技能検定は、実務経験を段階的に試験するというもので、日々の現場での作業経験が大いに試されます。1級から3級まである造園技能士は国家資格であり、試験では知識だけでなく技術も問われます。内容は日本庭園の添景物のひとつで露地に設置される「つくばい」を決められた時間内で完成させるというものです。厳しい暑さの

中で額に汗を流しながら、参加者は一生懸命に挑んでいました。

今年の試験では、1級を9名、2級を12名が受験し、1級7名、2級8名の合格者となりました。時代とともに庭園も新しいカタチへと変化しておりますが、基礎となるものは昔から変わりません。そしてその二つとして造園技能検定があります。将来のためにも、今後検定に参加するすべての方が、目指している資格を取得できるよう、協会として心より応援していきたいと思



指定された区画内に、四つ目垣製作、緑石・敷石・飛石敷設、築山、整地及び植栽作業をおこなう。

◆標準時間／2時間30分

◆打ち切り時間／3時間

そのほか、学科試験と50センチメートルの枝葉を見て樹木名を判断する要素試験が別日に実施されました。



指定された区画内に、建仁寺垣製作、つくばい敷設、飛石・延段敷設及び景石配置と植栽・小透かし剪定をおこなう。

◆標準時間／3時間

◆打ち切り時間／3時間30分

そのほか、学科試験と50センチメートルの枝葉を見て樹木名を判断する要素試験が別日に実施されました。

TOP/CS

中小企業団体中央会青年部の視察研修に参加

令和4年11月11日(金)～12日(土)に香川県造園協会高松支部青年部の2名が、香川県中小企業団体中央会青年部の視察研修に参加しました。視察先は海水淡水化センターとららぽーと福岡で、青年経営者、後継者の資質向上を図るとともに、業種や団体の枠を超えた会員相互の交流を目的におこなわれました。異業種の若手世代の方々との意見交換ができたことは、貴重な機会となりました。

今回の視察で訪れた海水淡水化センター(まみずピア)は、海水淡水化施設として建設されました。ここ香川県でも水資源には古くから悩まされており、視察内容は非常に興味のあるものとなりました。

現在、水のみならず地球温暖化に伴い、あらゆる資源に深く影響が出ています。緑を増やしCO2排出を減らして温暖化防止に努めることが、造園業界にいる私たちにできることではないかと実感した研修となりました。



TOP/CS

3年ぶりの研修旅行 北海道へ行ってきました

令和4年7月3日(日)～5日(火)の3日間、総勢14名で北海道へ研修旅行に行っていました。

北海道では第39回全国都市緑化北海道フェア(ガーデンフェスタ北海道2022)が開催されており、全員で見学をしました。広大な北海道では土地の使い方や緑化の方法が四国とは全く異なり、現地で見学するものすべてがとても新鮮でした。

見学が終わった後は観光やゴルフをするなど、北海道を満喫することもでき、充実した旅行になりました。

今回は3年ぶりの研修旅行となりました。今後も定期的にこのような機会を設けて、会員同士の親睦を深めるとともに、香川県の造園業界にプラスになるような経験ができればと思います。

